

古文書史料目録

第 31 号

手習所・私塾等の「御手本」類

平成21年3月

山形大学附属博物館

凡 例

1. 本目録は寺子屋や私塾の御手本類248点を分類・整理したものである。類としたのは内弟子や家庭内教育や、明治以降になつての覚帳などを含んでいるからである。
2. 大きく6項目に分類した。1. はそのうち年代のはっきりとしているもの、2. は年代の不明なもの、3. は製本方法が折手本もしくは法帖仕立てのもの、4. はいわゆるこわれ本や端切など、5. は芸能・他稽古等のもの、6. は関連する論文と整理・分類で気づいた感想文、というようにそれぞれ収録している。このうち4と5は年代の分かるものを先に列挙し、後は保管の都合上大きさの順に並べている。
3. 表題や年号などで（ ）付のものは、未だ確定できない推定のもを表記した。特に表題は、内容を読み仮題となるものを暫定的につけた。利用者の便を考えてのことだが、是非ご教示を乞う。
4. これらのものは主に山形県内で蒐集・保存されていたものだが、明らかに他県のものは外した。ただ、まだ混入している可能性はある。

5. 本目録は古文書資料の中でも、御手本類という限られた分野の資料であるため、本館の通常目録とは体裁を異にした様式となったことを予めご了解いただきたい。

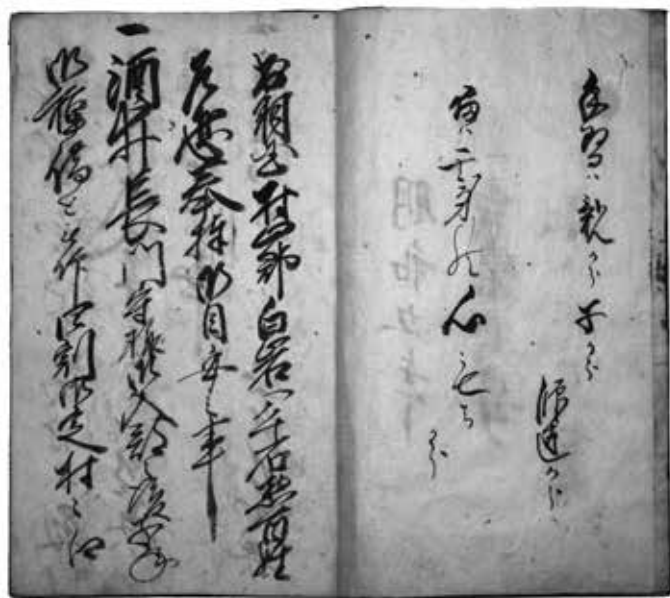
6. 目録の形態は下記による。

番号	表 題	年代	寸法	地 域	師匠名	筆子名・持主	備 考

※寸法の表示はタテ×ヨコ、単位はセンチメートルとする

※番号は 分類番号－類別番号の順とする。

なお、御手本類の整理と本目録作成にあたり、本館ボランティアスタッフ石島庸男氏（山形大学名誉教授）に多大なるご尽力を賜りましたことをここに記して、感謝の意を表します。



1 - 23 羽州最上 白岩目安

今朝月之書書昨十三下
 見多事
 一而國成後其後新說中付
 同病後出而後由是各得其
 京伏見今同本加之之今
 其心何況是國之京勝其

京勝身之之書書昨十三下
 見多事
 一而國成後其後新說中付
 同病後出而後由是各得其
 京伏見今同本加之之今
 其心何況是國之京勝其

今朝月之書書昨十三下
 見多事
 一而國成後其後新說中付
 同病後出而後由是各得其
 京伏見今同本加之之今
 其心何況是國之京勝其

1. 御手本（年代順）

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
1-1	売券状（新板用文障下）	延宝7年	29.6×19.9	飽海郡	（助次郎書主）	（安麻鶴之丞）	7種あり
1-2	菅原願書	正徳2年	28.3×19.2	（寒河江）日和田村	（秋場小源次）	（大泉家持）	
1-3	初登山手習教訓書 他	享保14年	28.8×18.4	（羽州 [㊦] 井村）		（庄兵衛、九兵衛）	義経状、田尽含
1-4	和漢朗詠集 上	（ " ）	25.1×16.7	長井庄小滝村		川井惣助	
1-5	庭訓往来（巻末 和漢朗詠集11首）	安永3年以前	31.7×21.4		（義明書）	立岩三右衛門持	安永3買入
1-6	風月往来 義経状 楠正成状	安永7年	24.3×16.8			小西松之助	
1-7	江戸往来（内題 自遣往来）	安永9年	29.8×20.5			渡部勝 [㊦] [㊦]	
1-8	大橋流 古筆流 諸手本集	（天明～）	30.2×21.0	（荒砥）大舟村	内田藤馬 他5名	須貝新伍カ	須貝肩書あり
1-9	（御状目）	寛政10年	31.5×20.8			1枚ずつ氏名が違う	前後欠
1-10	御手本（商売往来、曾我状 他）	文化3年	33.2×22.3	（山形）江俣村		五十嵐庄蔵	
1-11	商売往来	文化11年	21.8×16.5	（山形）平清水村		高橋圓蔵	
1-12	（熊谷状）	文化12年	24.6×17.1	平田郷漆曾根～		□田 [㊦] 治	
1-13	和漢朗詠集	文化13年	23.3×16.5			三吉氏	
1-14	御手本（用文、名尽、松島往来～）	文化15年	31.0×21.5	江俣村		五十嵐三太郎	
1-15	（消息短文集）	文政2年	32.3×21.9	東山家村		池田（屋）平兵衛	
1-16	寺子制誨之式目	文政5年	28.2×19.7				
1-17	自遣往来	文政7年	18.1×12.1	米沢長町		新田（刺物屋桑太）	
1-18	御手本（いろは、日用文章 他）	（文政11年）	29.8×18.8	（川西）上奥田村		鈴木幸吉 他2名	
1-19	唐詩選 四	天保2年	29.0×18.6			（丸家定六）	

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
1-20	竹山要路 誦経 第七	天保2年	29.3×21.6			(源資之写)	
1-21	能書方之手本集	天保4年	31.3×19.7	(米沢館山片町)	(複数)	山口鶴翁斎拵	天地断切
1-22	手本(商取引等の消息文～)	(天保5年)	31.0×20.7	最上観音寺村		(小野栄蔵)	
1-23	羽州 最上 白岩目安	天保5年	23.6×14.6	村山郡畠沢村	(五十嵐写)		原本は明和5年
1-24	狸少人状	天保6年	24.7×17.1			佐藤嘉吉	
1-25	商売往来 他	天保7年～	33.0×21.8			青木儀蔵	日用道具、名尽…
1-26	博奕事	天保8年	27.7×11.8	村山北村山湯舟		鈴木作蔵	右上ネズミ
1-27	泰平江戸往来(自遣～)	天保10年	33.3×22.3	〃 植野村		武田伸治(14才)	
1-28	御手本(鳥海～、諸証文～)	(天保12年～)	32.2×21.9	最上印役村		小鹿	
1-29	(御手本集)(消息文例 他)	天保13年	31.7×18.4			小川左吉	前欠
1-30	御手本集(用文、消息～)	天保13年	33.1×21.9	(手野子村)		巻坂鶴吉 他	
1-31	一紙一字(帳) 甲乙順番	天保14年	22.5×16.1		通神口	口三郎持	
1-32	風月往来	弘化4年	32.4×21.7	手野子村		巻坂鶴吉	
1-33	御手本(風月往来)	弘化4年	29.2×21.0	(米沢)	清流堂	伊藤半平	
1-34	八組郷中村名大庄屋名前附 御領地郡中村名共	弘化4年～	23.4×15.6	庄内		糟屋君之助写	手本の原本カ
1-35	御手本集(用文章、名尽～)	弘化4年	31.7×20.5	手ノ子		鶴吉	
1-36	世話千字文	嘉永2年	32.1×22.3		(渡部正敬書)	楨彦太郎	
1-37	(月別消息)	嘉永2年	32.1×22.1		渡部正敬書	真木 〃	
1-38	(御手本 いろは～短消息)	嘉永3年	32.9×21.7				表紙欠
1-39	寺子式目	嘉永3年	24.5×17.1	庄内西荒屋村		鈴木重次郎内亀次郎	
1-40	御手本(用文章)	嘉永4年	31.2×20.2			崑平治	後欠 ムシ

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
1-41	(日用消息短文例)	嘉永5年～	32.4×22.2	(下長井)		青木利吉	表紙欠カ
1-42	(大和廻り他)	嘉永5年	29.6×18.4	米沢下山村		安部七次郎(10才)	前後欠
1-43	詩歌十八体 散形 三十六歌仙	嘉永6年	17.6×24.1		(謙光)	(園泉堂) 輪嶋習英持	ムシ入
1-44	御手本 (字尽、イロハ…)	嘉永6年～	33.0×21.9	下長井宮駅十日町		青木(虎屋)利吉	
1-45	(御手本いろは、用文章…)	嘉永7年	30.4×19.7			長太郎	前後欠
1-46	(御手本、名尽、教訓等)	嘉永7年	33.2×22.3			青木キン (女)	表紙裏表紙欠「と らや」の記名あり
1-47	手紙文罫	嘉永7年～	31.7×20.7	(米沢カ)		森谷悌次郎	(改装)
1-48	御蔵給人 他5	嘉永7年カ	29.7×19.8	中伊沢村宿内		安部川次(庄兵衛)	
1-49	洛陽往来	安政2年	32.2×21.4	村山郡最上植野村		武田長造	
1-50	御手本 (隅田川、消息～)	〃	31.6×21.3	〃		〃	
1-51	千字文	安政3年	32.9×22.0	〃		〃	
1-52	(御手本、名尽、寺子式目…)	安政3年	33.1×21.7	上小松		鈴木芳蔵	後欠カ
1-53	華道往来	安政4年	33.2×22.2	村山郡植野村		武田長蔵	
1-54	農家指南記 全	安政5年	27.9×17.4		(室井常吉)	初四郎	
1-55	実語教	安政5年	28.0×17.7	鮎家村		室井初四郎	折心に丁数他
1-56	(実語教・童子教)	安政5年	27.4×18.8		小井上湖島		表紙裏表紙欠
1-57	(御手本、いろは、消息…)	安政7年	33.2×21.7	米沢大佐田村		須藤幸吉(鈴木)	
1-58	商売往来	文久2年	23.7×16.5	沢良堂村東沢(山形?)		初三郎	
1-59	(内題 教訓往来 他)	慶応2年	32.1×21.4	村山郡陣場村		岩田屋豊次 他	
1-60	御手本入 (消息短文)	慶応3年	29.5×20.0				左下スミ切
1-61	(往来物等覚)	明治2年	17.7×11.0	米沢宮内村内原		山口惣三郎	商売往来 他

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
1-62	御手本集(いろは、商売往来)	明治4年	31.2×20.1	米沢外之内村		渡辺宇之吉秀信(15)	
1-63	囀之文章	明治4年	23.9×15.8				後欠水かぶり
1-64	用文独手元薫書	(明治4年～)	32.3×22.3	新山村		大二店内 多勢吉次郎	他名あり
1-65	実語教・童子教絵抄 他	(明治5年～)	30.0×18.8	下長井黒沢村		鈴木彦蔵持	
1-66	世話千字文	明治5年	31.4×21.0	村山郡陣場村		岩田豊次	
1-67	謫中之御作	明治5年	24.7×12.2	荒瀬郷下高神村		曾根原作治	
1-68	小野篁歌字盡	明治7年	24.9×17.6			亀松	
1-69	證文并□□状	明治7年写	28.8×18.5	朝日町四野沢 (東永寺亮音写)		清野勝蔵	初丁切
1-70	(御手本－五十音、米沢地名尽…)	明治7～9年	33.6×22.9	米沢小野川村		鈴木七弥 他	前欠
1-71	御 一筆啓上 家	(明治7年)	12.3×16.2	(山形)飯塚村木(沢)		小山元治	覚帳
1-72	教訓往来	明治7年	24.3×16.7			堀江松富	
1-73	(千字文)	明治7年	33.7×22.6	大佐田村		鈴木広作(12才)	表紙欠カ
1-74	天神教訓状、洛陽往来 他	明治8年	31.6×20.7	四野沢村		清野勝蔵	
1-75	商売往来并書文仮名御手本	明治8年	28.7×18.5	朝日町四野沢村		清野勝蔵	商売往来のみ
1-76	御手本(五十音、商売往来 他)	明治9年	33.3×22.7	小野川村		鈴木広作	明治7年～
1-77	仮名手本(いろは、仮名～)	明治12年	28.1×19.2			関根増太郎	
1-78	御手本(葉種名尽?)	明治12年	24.5×16.6			内田太一郎(17才)	
1-79	女大学	明治15年	22.6×16.0	(鶴岡)			表紙裏表紙欠
1-80	隅田川往来	明治16年	28.3×19.2			関根平太郎	後欠カ
1-81	近道子宝	明治19年	16.3×11.7			五十嵐留蔵 他	カナ少々

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
1-82	雅 俗 一新要文	明治23年	24.6×16.4	東村山郡山辺		垂石亀治郎	
1-83	(文法菟口)(文例多)	(明治26年～)	24.7×16.6	宮内町			途中破損あり
1-84	手習草紙	明治27年	22.1×17.1			中島勝三郎	ほとんど未使用
1-85	大全消息往来	明治30年求	31.2×20.4	西村山郡谷地町		斉藤寅治	後欠カ
1-86	日用文記載	明治30年～	24.9×16.7	東村山郡楯山村		弘前砲兵中村源吉カ	
1-87	(手紙文の写)	(明治30年)	12.0×15.9	(千歳村長町)		(長岡てつ)	
1-88	種々之扣帳	明治32年	24.7×17.3			小野	教科書漢字帳
1-89	特選綴方集(内題)	明治34年	21.6×14.5	(酒田カ)			用文例150
1-90	(作文帳控)	明治カ	16.7×12.6				
1-91	(文例集)	明治カ	11.9×16.2				前後欠
1-92	御手本(名尽、東海道往来…)	明治カ	32.9×22.0	(上山カ)	中山、高橋、 浅野	菅沼定助・久助	郷土ものあり
1-93	作文誌	明治カ	24.6×16.7	村木沢悪戸		加藤利三郎	
1-94	日用文	明治カ	22.5×15.6			小形	
1-95	単語二	明治カ	24.6×16.5			川嶋喜之助	
1-96	日用書類口	明治カ	23.9×16.4				後欠
1-97	(教科書漢字拔書)	明治カ	27.5×19.5			関根増太郎	前欠
1-98	諸人 日用 一寸案文	明治カ	14.5×9.5	米沢県江刺郡?		菊地利蔵	巻末題
1-99	古文真宝後集	昭和4年	28.9×18.2	谷地町	(布川利学)		
1-100	御手本(手紙の文例集)	安政7年	32.1×21.3	米沢北原上奥田村		佐々木新三郎	落書多 (追加)

2. 御手本（年号欠）

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
2-1	庭訓往来		32.5×21.6	東村山郡大塚村	船山泰三郎筆		船山晴記
2-2	商売往来		33.0×22.1				後欠
2-3	東百官并五性名頭文字 商売往来		33.0×22.5	(遊佐藤崎岡谷カ)	(表紙裏に菅沼小十郎、増田 市之允、石川鬼三太の名あり)		
2-4	(用文章)		31.5×20.8	村山郡送橋村四野沢		清野□□	
2-5	(用文章系)		33.5×23.1	(山形)			地域もの含
2-6	(いろは手本)		33.5×22.4			青木きて	前後欠カ
2-7	横山氏（消息文例）		31.5×24.5	(山形カ)	(横山)	(忠貞蔵書)	
2-8	御手本(いろは、数字、名尽)		33.0×22.3			佐藤浪治	左下スミ後欠
2-9	御手本（12ヶ月分、消息）		33.1×22.4				
2-10	諸職往来		33.2×22.3				後欠
2-11	御手本（近道子宝）		33.6×22.1	浅立村		高橋源内	松島往来含
2-12	(御手本－婚姻女国尽…)		33.4×22.3	(上の山カ)		(菅沼) うた	前後欠
2-13	(御手本－いろは、初学短 例文…)		31.8×21.0	(")		(菅沼) 婦幾	14と同内容
2-14	御手本 (童子早学問、風月往来…)		31.8×21.7	(")	栄泉堂 高橋先生	菅沼幸吉	
2-15	(御手本－御城廻六ヶ郷…)		31.5×21.3	(")		(" 徳介)	地域ものあり
2-16	(御手本－御城廻六ヶ郷…)		33.3×22.1	(")		(菅沼) うた	14と同
2-17	御手本（いろは～吉書…）		33.4×22.0	上山月岡城南川辺		菅沼貞助	

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
2-18	洛中案内記		22.1×32.6	(鶴岡?)	五十嵐吟吾	桜井文治(伊左衛門)	
2-19	御手本 (消息往来…)		30.7×20.0	(置賜カ)		安之助	後欠
2-20	(消息文例集)		29.6×19.7	(上の山カ)		(菅沼カ)	
2-21	(消息短文例集)		32.5×28.7		(梅庵筆)	(長谷川長吉様)	
2-22	(大雅堂 荷春館連)		27.4×19.5				ふちどり字
2-23	(消息短文例)		28.3×18.8	山形十日町		(好覚坊悱)高橋	仙台の地名あり
2-24	六論衍義 (大意)		26.1×19.0				前後欠カ
2-25	差上申五 (人組帳前書)		29.1×17.9				前後欠カ
2-26	三字経		27.4×18.7			清宮質次郎写	15才
2-27	日用文章筆海		30.0×19.0	鞆町宮内村		和泉屋清三郎 (総屋万次郎)	改装本
2-28	大和往来		29.3×18.6	(庄内)平田郷北境村		佐藤文蔵	
2-29	(達46ヶ条)		28.2×18.2				前欠
2-30	弁慶状 (「源書」?)		27.8×16.6				表裏表紙欠
2-31	風月往来		28.5×18.2				
2-32	商売往来		29.0×18.7	中北目村		(水島 [㊦] 吉) (かめ之 [㊦] 添 [㊦] 太郎)	「寛延4年」は元版カ
2-33	(商売往来)		29.8×18.6			吉三郎	前後欠カ
2-34	寺子制 ^マ 海式目		28.4×17.5				前後欠カ
2-35	(日用文例覚)		29.1×18.0				ムシ
2-36	(直江状)		29.5×19.4				前後欠 下部破損

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
2-37	幼学字尽		27.3×15.0			(兵庫之介持) (平右衛門)	カナふり
2-38	(漢語集)		26.0×18.9				前後欠カ
2-39	(漢) 方葉名尽		27.3×16.4				途中まで
2-40	(目録覚他消息)		26.1×19.0			(初春祝之助)	前後上下切欠
2-41	物臭状		28.3×18.5			此主栄 ^因	疲れ本
2-42	(西国幕注文(紋))		30.5×18.5				前欠
2-43	寺子(制誨)式目		24.9×17.2				ハサミあり
2-44	女今川教訓		25.8×18.1			とみた繁女	
2-45	(源氏名寄文章)		24.9×17.3				前後欠
2-46	用文章		23.7×15.9	村山郡北山村		^因 湯 ^因 作蔵	左上ネズミ
2-47	勸進帳、起請文、願書		24.4×16.2				
2-48	御帖(諸証文例…)		24.6×17.0			(中村捨吉)	
2-49	実語教、童子教		24.1×15.8		□□世温書之	(貝山徳弥)	
2-50	女今川		23.8×16.9			丹波屋とよ	前欠
2-51	(女今川)		25.9×16.7				前後欠
2-52	御手本(諸証文覚)		24.3×15.6	(長井)平山村		平井栄三郎	左上切
2-53	書取 口上書類簿		24.2×16.5			小山恵(えへ)女	
2-54	以呂波御手本		24.2×16.9			園口牛松	
2-55	商売往来		24.9×16.9			中村豊吉	一部カ
2-56	消息往来		22.2×15.8		大蔵 司	平田亀松	
2-57	手本(漢語文…)		25.5×16.5	(鶴岡カ)			イタミ

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
2-58	(実語教・童子教)		24.2×15.4	(山形カ)		□代松	前後欠
2-59	北條早雲寺殿廿一ヶ條		24.0×17.3			秋田盛英持	
2-60	仮名文		14.9×22.6		(後藤吉蔵)		女子用カ
2-61	(五常、名頭)		16.0×11.6	米沢岡屋町		(売間新蔵)	後欠
2-62	算法記 全		9.8×15.4	山形七日町		(多為野利与四啓)	

3. 折手本・法帖 等

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
3-1	經下邳圯橋懷張子房(李白)	(享保10年)	30.7×10.1				他に杜甫の詩あり 表紙・裏表紙切
3-2	(消息・人麿和歌)	明和元年	32.5×7.6				前欠
3-3	御手本 (消息)	文化5年	19.0×7.3	(山形)	(信之)		
3-4	飲中八仙歌	天保13年	24.4×7.1				表紙欠 ふちどり書
3-5	三十六人歌合	安政5年	35.1×6.7		奥御佑筆組頭 田中龍之助		書体いろいろ
3-6	(帰去来の辞)	明治5年	31.0×11.0			北条大口姓 晃山亭蔵	前欠
3-7	おとつれ帖	昭和18年	30.8×12.5	長井高等女学校			ガリ版
3-8	(あらたまりぬる春のあした～)		36.9×8.3				二印あり
3-9	(番匠系手本)		37.5×9.0				
3-10	(消息文例 他)		35.0×7.1				和歌あり 奥書読めず 二印あり

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
3-11	(職名消息)		31.3×5.8				
3-12	村 尽 上		29.5×6.9	山形城下			後欠
3-13	朱夫子家治子格言		31.9×7.1	寒河江町	(独楽齊玄養)	軽部権蔵持	
3-14	(被 笑唾方者～)		34.4×7.4				改装本
3-15	(女消息文例)		30.2×6.2				表紙に「和歌」とあるも×
3-16	(寺消息文)		32.2×7.5				前後欠 改装
3-17	(日用語集)		31.2×7.3				
3-18	拾六 (女用消息)		30.6×5.5			(桂 幾枝)	
3-19	(消息と漢語文)		32.1×6.7				表紙裏表紙欠
3-20	(漢文・和歌・家名尽 他)		31.2×6.7			(尊超寺)おのえ	三バン手本
3-21	(女用手本)		30.2×5.6			(金宝寺寿美持)	後欠
3-22	(往復消息文例)		31.9×5.6			(福富持)	前後欠・青 墨流紙
3-23	(消息文例)		31.1×12.1				御手本
3-24	国春吉書	甲子	34.3×12.5				印あり
3-25	(李白・漢語文)		28.0×14.3				印三あり
3-26	御手本 (漢語文)		28.1×11.0	鮎貝駅		(高陽亭杜水)	(拝家星歌)
3-27	(夫人盤万物の霊～)	明治カ	30.3×7.2				小学校と文中にあり
3-28	(漢詩・和歌)		28.1×7.7				前後欠
3-29	(前赤壁賦)		28.2×9.1				印二あり 題簽よめず

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
3-30	(寄園行啼)		27.9×9.2				印二あり 題箋よめず 「風橋夜泊」含
3-31	(五言絶句)		27.8×9.1		龍譚口人書		印あり
3-32	(客者評判記) 後筆		18.3×8.1				前後欠
3-33	(消息手本)		19.1×6.8				
3-34	心箴		18.2×5.7			(川村)	范淩 他
3-35	(士消息文例)		18.9×6.5				
3-36	(女消息系)		17.1×5.7				
3-37	(漢語文～)		28.3×16.4				4葉のみ
3-38	古文孝経		37.5×8.3				印三あり
3-39	(梅・春花 他)		30.1×9.0				前後欠カ
3-40	(優雅な消息)		24.8×7.0				前後欠カ 宛名数名あり
3-41	(和歌手本)		27.1×6.1				前後欠
3-42	(消息文例)		32.1×7.5				後欠
3-43	(消息断簡)		29.6×7.0				前後欠
3-44	(諸国 他)		30.4×7.1				前後欠
3-45	(国尽切) (畿内)		30.5×6.2				前後欠 模様紙
3-46	(消息短文例)		31.2×5.1				前後欠カ
3-47	(伝)	癸未	28.1×9.1			(春口書) 印二	前欠
3-48	(世話千字文)		38.1×8.4				後欠

4. 断簡・バラもの

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
4-1	(消息手本)	元禄15年	19.7×6.1	置賜川樋村松林寺内			後欠
4-2	粗註用験鈔 (医系カ)	文化11年	27.7×17.0	(土生田)		(柴田)	水かぶり
4-3	□□五人組帳	(天保14年)	30.4×21.1	(東根) 土生田		柴田弥十口持	水かぶり
4-4	(庭訓)		32.6×20.7	(出羽三山中カ)	(墨林)	(内之丞)	前後欠
4-5	(江戸往来カ)		32.2×21.3			こ希	
4-6	(自休上人の唱)		32.2×4.6				和歌一首
4-7	百姓往来		24.4×16.5				6丁バラ
4-8	拾四経歌 (医系カ)		27.9×18.3			(安達与右衛門)	水かぶり
4-9	(消息文例)		28.6×21.0				
4-10	(和尚様へ申上～)		32.2×20.6				
4-11	(集会一タ～消息手本)		31.7× (20.0)			(梅次)	
4-12	(国尽)		27.9×5.8				包み紙に使用カ
4-13	(日常食草等集)		26.9×20.0				
4-14	庭訓往来		切	(置賜カ)			屏風の下張
4-15	新板 御手本 四折		29.5×16.6	(山形上町)		山田太吉	表紙のみ
4-16	(手習草紙切)		29.7×18.4	米沢 (玉庭)			
4-17	(定書□□ヶ条)		27.7×20.5				
4-18	(和手本)		33.6×22.3				霞かくれに…
4-19	(年頭観武消息)		32.8×40.5 32.8×40.0			保科沓参郎	
4-20	(摘草…消息)		32.2×6.8				

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
4-21	(手紙断簡)		18.7×5.7				折手本後欠カ
4-22	(御買地之御普請～)		19.0×5.8				1 枚のみ
4-23	(消息短文手本)		33.8×22.0			(寺岡平右衛門)	金田作弥カ
4-24	(手本張合包紙)		28.3×42.7	京都カ			山形へ送られたカ
4-25	(定書)	明治 7 年	29.3×5.8	置賜県(下山村)		渡部藤四郎	(追加)

5. 芸能・稽古事

番号	表 題	年 代	寸 法	地 域	師 匠 名	筆子名・持主	備 考
5-1	(諸道芸教訓書写)	(宝永 2 年)	25.8×17.8				1 枚のみ
5-2	(謡覚帳)	天保10年カ	14.4×18.1	(米沢)館山下町		安部幾次郎	他名もあり
5-3	菅原伝授手習鑑 松王下邸の段	明治42年	29.1×21.0	(寒河江?)	筆主 市清	本主 吉二	7まで義太夫カ
5-4	箱根霊験 (記) 籠の段		30.0×20.7	寒河江 中村 山村? 新町?	竹本□□	孝助	
5-5	八陣 船の段		28.0×20.8		(巴太夫)		朱入
5-6	忠臣蔵 セツ目切		27.9×15.4			(原野屋持)	
5-7	(忠臣蔵) 山科之段		27.7×15.5			(寺岡平左エ門)	二度目清書
5-8	外題揃		24.5×17.2				(謡曲名尽) 途中までカ
5-9	(絵手本)		22.5×19.4	上山十日町	(陸屯邑利里口)		前後欠
5-10	(抑渡童可稽事…)		27.4×12.7			勘兵衛	後欠カ
5-11	(箏曲譜カ)		31.4×12.1				
5-12	箏曲一 (生田流箏曲歌物)		17.7×24.5			後藤貞子持	
5-13	琴北集		24.1×16.8			□□幸	後欠

6. 参考文献

番号	表題
6-1	八鍬友広「近世民衆の初歩的読み書の教育について―消息・用文章教材の分析を通して―」『日本教育史研究』第8号、日本教育史研究会、1989年、70－88頁。
6-2	石島庸男「御手本類の整理と目録化をしつつ」『紙魚』第48号、山形古書研究会、2008年、40－44頁。
6-3	石島庸男「御手本類の整理と目録化をしつつ(二)」『紙魚』第49号、山形古書研究会、2008年、40－44頁。

古文書史料目録 第31号

手習所・私塾等の「御手本」類

2009年3月発行

編集兼
発行人 山形大学附属博物館

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL/FAX 023 (628) 4930

<http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/>
